

校訓：人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めぬよう
学校教育目標：自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成



薫陶

学校だより くんとう
1月号 令和6年1月9日
七塚小学校長 稲垣 優子



七塚小 HP QR コード

みんなで、この苦難をのりきろう! のりこえよう!!



2024年、新しい年を迎えました。今年はとても大変なお正月となりました。1月1日午後4時10分ごろ、能登地方で最大震度7の大きな地震があり、輪島市では、朝市通り付近で約200棟が焼失する火災、また珠洲市など他の市町でも、家屋倒壊、損壊が相次ぎました。ここに、お亡くなりになられた多くの方のご冥福をお祈りし、謹んでお悔やみを申し上げるとともに、怪我をされた方、被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

今年のはつ年。干支では「甲辰(きのえ たつ)」にあたります。この干支の年は、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」と言われています。「甲(きのえ)」は「木の兄(陽)」を表し、急成長・発展を意味しています。また「辰」は十二支の中で唯一架空の生き物、龍を意味し、水や海の神として祀られてきました。「龍が現れるとめでたいことが起こる」とも言われています。総じて、「甲辰」の今年、目に見える表だった行いも、これまで人目に付かなかった行いも、ありとあらゆるすべてに光が当てられ、大きく変化していく年、将来の大望を叶えるための準備が整う年とも言えます。自身を見つめなおし、足元をしっかりと踏み締めていくことで道が開き、それこそが後に大望を叶える鍵となることでしょう。七塚小の児童が、この震災を乗り越え、新たな成長に向けてさらに動き出す1年となることを、心から願っております。



七塚小学校も避難所、給水所となり、たくさんの皆さんがお世話してくださいました。簡易トイレも設置され、断水の間、24時間使用できました。



次の学年に向けてジャンプする3学期

～「のりきる、のりこえる」を合言葉に～



今日の始業式では、新たに「乗り切る・乗り越える」という3学期のスローガンを掲げました。基礎を固め、向上できた1・2学期を踏まえ、次の学年に向けてジャンプの3学期、そして、この苦難をみんなで「のりきる、のりこえる3学期」にしようと伝えました。

まずは、自分にできることは何かを考え、自分の目標をしっかりとち、その達成に向けて努力を続け、次につなげていきたいと思えます。そのためには、具体的にどうすれば自分の力を伸ばせるのかを考えることが大切です。そして、結果ではなく、その過程で努力していることを認め励まし、「粘り強く取り組み続ける力」を育てていきたいと思えます。ご家庭でも学校の様子を積極的に話題にさせていただくとともに、温かい応援の言葉をかけていただけましたら幸いです。よろしく願いいたします。

※書き初め作品展示期間 1/10(水)14:00～16:00 1/11(木)15:30～17:00 12日(金)には持ち帰ります

